

2006年に閉園した菰野町の御在所岳の日本カモシカセンター跡地に緑を取り戻そうと中部電力と森作りに取り組むNPO「森林の風」などは7日、同跡地で植樹ツアーを行った。親子など34組94人が参加し、楽しそうに苗を植えた。写真。

同NPOが昨年10月に山頂付近から移植して低地で育てたアカヤシオやリョウブなど5種類のほか、自生種と同じ鈴鹿連峰内のホンシაკナゲの苗を用意し、計200本を植樹した。

日本カモシカセンター跡地  
「緑を取り戻そう」200本植樹



中

☐

2011年(平成23年)5月8日(日曜日)

北勢

小さな苗木  
大きく育て

御在所岳で植樹  
NPO法人「中部リサイクル運動市民の会」(名古屋市)と中部電力は7日、菰野町の御在所岳(一、二二二)の山上公園で植樹ツアーを実施した。



植えたのは、ホンシაკナゲやミスナラなど鈴鹿山系や御在所岳に自生する六種。晴天の下、県内外の九十四人はスコップで穴を掘り、丹精を込めて苗木を植えていた。植樹への思いを書いた寄せ書きプレートも作り、付

近に立てた。  
(佐野周平)

御在所岳の山上公園に植樹する参加者＝菰野町で